

信用格付を付与するために用いる方法の概要（証券化商品）

本格付基準において論じられる原則は、住宅ローン担保証券、商業用不動産ローン担保証券、資産担保証券、ストラクチャード・クレジット案件を含む証券化（SF）商品の資産クラス全体に適用される。本格付基準は、すべての SF 案件に適用される包括的な枠組みを提供するものであり、これに加えて、資産クラス別の詳細な格付基準が考慮される必要がある。

フィッチ・レイティングス（フィッチ）が SF 案件に対する格付意見を決定するうえで重視する主要な格付要素は、以下のとおりである。

- **資産の隔離及び法的構造**

裏付資産プールがオリジネーターの信用リスクから有効に隔離されている場合、その他の要因がなければ、当該 SF 案件はオリジネーター自身の格付を上回る格付を取得し得る。

- **資産の質**

フィッチでは、通常、資産の信用特性を分析することによりベース・ケース・シナリオ上の予想損失を導出した後、各格付カテゴリーの序列に応じたストレスを付加する。

- **財務ストラクチャー**

信用補完、ストラクチャー上の特性及びカウンターパーティ・リスクは、財務ストラクチャーを分析するうえで、主要な検討事項となる。フィッチの格付は、当該債券が対応する格付ストレス・シナリオ上で、フィッチが想定する裏付資産プールのデフォルト時損失に十分に耐え得る利用可能な信用補完を有しているか否かを反映したものである。

- **オペレーションナル・リスク**

案件当事者としてのオリジネーター、サービスー及び CDO アセット・マネージャーは、裏付資産ひいては案件のパフォーマンスに対して影響を与え得る。フィッチは、格付する SF 案件に関する当事者のオペレーション・プロセスを評価する。

- **格付キャップ**

フィッチでは、SF 案件におけるある特徴を有する一定の格付水準には見合わないとみなすことがあり、そのため、格付に上限を設ける場合がある。

- **サーベイランス**

フィッチでは、案件に格付を付与した後、当該証券の全額償還又は格付の取り下げまでの間、そのサーベイランス・プロセスを通じて、案件のパフォーマンスを当初想定と比較しつつモニタリングする。

本格付方法の詳細については、「Global Structured Finance Rating Criteria」（2021 年 3 月 24 日付格付基準レポート）をご覧ください。